

真のお父様が天福宮礼拝で日本の二世に向けて語られたみ言  
2010年3月7日 天福宮礼拝

にほん 日本から来た少年少女ですね。 座って…

おきな 幼い十代の少年少女たちです。

しじょ このような子女たちが世界には多くいると思いますが、

しじょ この子女たちを誰が育て、誰が教育しますか？

こうばく この荒漠たるサタン世界で…

しじょ このような子女たちを見ると、私が青年になって…

いっしょ 一緒に暮らしてあげたいのです。

わたし 私が火のごとく燃え、狂ったように…

しじょ このような子女たちに、

じかん そんなひとかけらの時間でも見せてあげられる時代を、

うしな 失ってしまった「恨」を抱いて生きることを、

みなさま 皆様は忘れないでください…

にほん 日本から来た少年少女たち、あなたたちは、何よりも

とうと 貴いこの時代を喪失しないように、努力しないとイケない。

せんせい 先生より以上に…

せんせい 先生は、若い青年期をみんな失ってしまいました。

わか もう若くもない… 先もないんですよ…

せんせい そのような先生の立場から見れば、

いま 今から養育されるべき青少年たちが自分自身の…

お 落ちるのを、それを守る…

ぼしよ この場所を離別しなければならぬ立場を了解するように。

ちやうしゆ どうか聴衆の皆さんは、こういう若い子女たちを守ってくれる、

かみさま 神様に代わる父母になってください。

きょうだい 兄弟、親戚となることを願いなから、

いわ きょうの祝いの一つの記憶として残るように祈りつつ…

いっしよ では一生懸命に勉強して、

みらい 未来の希望が待っていますから。